

経営計画の点検・評価手法については、市立病院運営委員会において点検評価することとなっておりますが、評価の手法については「川崎市総合計画」の手法を参考にした前計画の評価手法を踏襲し、次のような点検・評価手法とし、それに対してご意見をいただくことによって、点検・評価といたします。

川崎市立病院中期経営計画2024-2027 様式1 施策評価シート

施策評価シート

施策1 医療機能の充実・強化

①経営計画は6つの施策から構成されており、施策単位にシートを作成し評価します。

取組項目(1) 救急・災害医療機能の強化

取組項目(2) がん診療機能の強化・拡充

取組項目(3) 高度・専門医療の確保・充実

取組項目(4) 医療安全の確保・拡充

成果指標と取組項目の関連性 ◎：関連性が特に大きい指標 ○：関連性が大きい指標

＜成果指標＞

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	単位等
救急搬送受入数	目標値	6,400	6,600	6,800	7,000	7,200	7,500	人
	実績値	6,846	6,578	6,800	6,900	6,500	4,400	
◎ 救急・災害医療機能の強化	達成率			100.0%	98.6%	90.3%	58.7%	
	達成度			a	b	c	d	増
材料費対医業収益比率	目標値	27.2	28.1	28.5	31.3	30.4	29.5	%
	実績値	30.3	30.7	28.5	31.3	30.5	29.5	
◎ がん診療機能の強化・拡充	達成率			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
◎ 高度・専門医療の確保・充実	達成度			a	b	c	d	減

②各施策に定められた「成果指標」の数値について次のとおり「達成度」を評価します。
a. 目標値以上
b. 令和4年度実績値以上～目標値未満
c. 目標達成率60%以上～令和4年度実績値未満
d. 目標達成率60%未満

(「増加」させるべき指標は上向き矢印で、「減少」させるべき指標は下向き矢印で表現しています。)

新型コロナウイルス感染症患者受入体制確保のため、流行状況に応じて一時的に救命救急センター病棟の一部をコロナ専用病床にしたことなどにより三次救急応需率は目標を達成できませんでしたが、救急自動車搬送受入数は目標値程度の件数を維持することができました。
令和6年1月に起こった能登半島地震では被災地に災害派遣チーム(DMAT)を1回、看護師を6回派遣し、被災地域における医療情報収集、病院支援等を行いました。

今後の方向性

三次救急搬送患者の応需について高いレベルで維持し、地域の基幹病院として「断らない救急」を継続していきます。また、プレホスピタル活動を充実させるため、救急ワークステーション設置に向けて消防局と連携、協議を行い、事故現場等へ迅速な救急・医療チームを派遣できるよう機能を強化していきます。また、救命救急センター棟の新築による設備面の強化と人材確保を行い、より効率的な受入れ体制を整えます。
災害拠点病院として、熱電供給システム(コジェネレーションシステム)を用いた持続可能なエネルギーを活用し、災害時に必要となる医療機能を安定的に提供できるよう体制を維持します。また、入院患者、医療スタッフの災害時に必要な食糧等の確保を継続して行います。

川崎市立病院中期経営計画2024-2027 様式2 取組進捗状況管理シート

取組進捗状況管理シート

川崎病院

施策1 医療機能の充実・強化

●取組項目(1) 救急・災害医療機能の強化

＜令和6年度の主な取組内容＞

① 救命救急医療の強化

①ソフト・ハード両面での救命救急患者受入能力の強化
②かわさきコロナリーホットラインの利用促進
③脳卒中患者受入体制の維持・強化
④新救命救急センター運用準備・活用
⑤救命救急センターへの専任薬剤師の配置維持

③各施策に定められた「取組目標」について、進捗状況について取りまとめます。

		＜令和4年度＞	＜令和5年度＞	＜令和6年度＞	＜令和7年度＞	＜令和8年度＞	＜令和9年度＞	＜単位＞
かわさきコロナリー ホットライン応需件数	目標値	100	100	100	110	120	130	件
	実績値	52	40					
救命救急センターへの 救急救命士配置数	目標値	6人	6人	1人	1人	2人	2人	
	実績値	0人	1人					
救命救急センター棟の 整備	目標値	設計・施工	工事	工事	運用開始	運用	運用	＜単位＞
	実績値	土壌対策工事 着工準備	施工	実施	実施	実施	実施	

②災害発生時画室による一時医療体制の確保
③各種訓練実施・参加(ブライント型訓練含む)
④DMAT及び川崎DMAT活動の充実
⑤3日分以上の備蓄品(食料、飲料水、医薬品)の確保と適切な補充・交換
⑥災害対策マニュアル及びBCPの改定

		＜令和4年度＞	＜令和5年度＞	＜令和6年度＞	＜令和7年度＞	＜令和8年度＞	＜令和9年度＞	＜単位＞
院内災害医療訓練の実施 回数	目標値			18名	18名	18名	18名	18名
	実績値	17名	16名	18名	19名	19名	16名	

プレホスピタル活動の充実

④「成果指標」「取組進捗状況」及びその他の状況を勘案し、次のとおり施策単位に「令和6年度の達成状況」を評価します。
Ⅰ. 順調に推移した(目標達成した)
Ⅱ. 一定の進捗があった(目標未達成のものがあるが一定の進捗があった)
Ⅲ. 進捗が遅れた(本計画の基準となる【令和4年度】を下回るものが多くあった)
Ⅳ. 進捗が大幅に遅れた(本計画の基準となる【令和4年度】を大幅に下回った)